

令和4年度 第4回 竜禅寺小学校運営協議会 議事録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月20日（月） 15時00分から16時50分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 会議室
- 3 出席委員 寺田 成一、松本 直己、鈴木 里枝、加藤 京子、安間 雄一
高須 道男、鈴木 邦明、新井 和美
- 4 欠席委員 石川裕一郎、倉重 建朗
- 5 学 校 水野 敦司（校長）、佐々木和也（教頭）、松井 康子（教務主任）
塩崎 弘治（CS担当教員）
- 6 傍聴者 なし
- 7 協議事項
(1) 議長の選出について
(2) 学校評価の結果、成果と課題について
(3) 来年度の学校運営の基本方針について
(4) 学校運営協議会の自己評価について
- 8 会議録作成者 塩崎

9 会議記録

委員総数10名のうち7名の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している確認をした。※加藤委員は15:25より参加

(1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について、前回協議会の終わりに倉重副会長に議長をお願いすることに満場一致で決定していたが、都合で欠席する旨の発言があった。すると、委員から寺田委員を今回の議長として推挙する声が上がリ、全員異議なくこれを承認した。

(2) 学校評価の結果、成果と課題について

○教務主任の松井より以下のような報告をした。

(成果)

- ・資質能力を身に付けてきた自信が表れていた。
- ・ほとんどの学年で数値が上がった。
- ・新しい指標を理解し、キャリアプランニング能力を高めることができた。

(課題)

- ・児童の学校での様子を具体的に伝えていく必要性を感じた。
- ・リーダーシップを発揮できたという実感を持てなかった。
- ・忍耐力も低かった。
- ・来年度は児童が他者とコミュニケーションを取りながら視野を広げていけるよう、体験の機会を増やし関わりを実感できるようにしたい。

○これを受けて、以下のような質疑応答が行われた。

- ・リーダーシップを発揮できる場面が少なかったということだが、学習の中でグループ討

論を行う機会を設けたらどうか。(松本委員)

- ・学習過程を考えると、1時間の授業の中でグループ討論に取り組むことができる時間は15分程度である。そのような時間制限がある中で本年度はできる範囲で取り組んできた。来年度に向けて、より一層の取組を進めていきたい。(教務主任)
- ・学校から帰ってから友達の家遊びに行くことが減っているようだ。大人や経験のある高学年の声掛けが必要だと思う。ソーシャルスキルを使った学びの機会を作りたい。(鈴木里枝委員)
- ・今後、コロナに関する制限が緩和されてくると思われる。いろいろな人と接することが多くなると子供たちの様子も変わってくるのではないかと。(新井委員)

(3) 来年度の学校運営の基本方針

○校長より基本方針の説明をした。これを受けて以下のような質疑応答が行われた。

- ・本年度と基本的に同じスタイルで進めていただきたい。基本方針には賛成できるので、できる限り協力していきたい。リーダーシップについては、少人数でのグループ活動に取り組むのもよいと考える。得意分野に関してリーダーシップをとる経験が積めるとよい。不登校の児童に対して、その子たちをどうしていくか考えていきたい。何らかの協力ができるとよい。少しでも減るとよいと考える。(高須委員)
- ・知り合いに不登校の子がいる家庭がある。家族が悩んでしまう。早い段階で対応できれば違うのかもしれないが難しいのかもしれない。対応について協議会でも話し合いができるとよい。(新井委員)
- ・個別最適を優先すると一人一人が孤立することが心配される。非常に良い重点項目になっている。(松本委員)

○議長より、校長より提案された来年度の学校運営の基本方針について、承認する委員の挙手を求める発言があった。参加全委員が挙手をし、来年度学校運営基本方針は承認された。

(4) 学校運営協議会の自己評価について

○議長が資料を読み上げて内容を確認したのち、参加全委員が賛同した。

10 報告事項

①夢をはぐくむ学校づくり推進協議会 本年度の予算執行について

○教頭より、要望書に基づき各学年で講師を招き学習を進めたり、図書にも活用したりした旨の報告があった。

②来年度委員について

○校長より、4名の委員が3年間の任期を終えること、そして、来年度より3名の委員が新しく加わる旨の報告があった。また、コーディネーターは高須委員が務めることも報告された。

③来年度学校運営協議会年間計画

○教頭より計画表が示され、全委員の賛同を得られた。